

「百日」の意味について



●Answer
帰依 龍照(きえりゅうじょう)
沖縄市・コザ山球陽寺住職



「百カ日法要」と「百日祝い」について質問です。亡くなつてから

の百日、生まれてからの百日、どちらも節目の行

事があります。何が関連があるのでしょ

うか?

(沖縄市 Nさん)

Q 「百カ日法要」と「百日祝い」について質問です。亡くなつてから

の百日、生まれてからの百日、どちらも節目の行

事があります。何が関連があるのでしょ

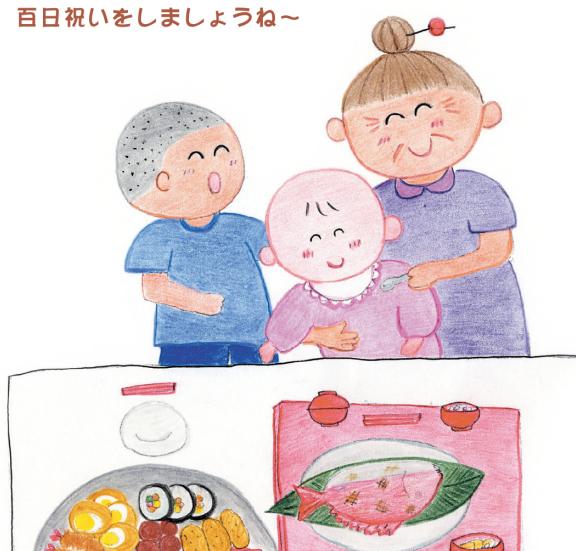
うか?

A 百に込められた意味

Nさん、素晴らしい着眼点です。百とは数の単位として、「ひゃく」「もも」と読みますが、「八百屋（やおや）」「八百万の神（やほ「お」よろずのかみ）」などのように、「お」「ほ」と読み、ものごとのとても多い様子を表すこともあります。

生まれてからの「百日祝い」の百は、赤ちゃんの乳歯が生え始める時期（個人差はありますが）である百日前後を意味し、「百日祝い」には、ミルク以外の食べ物を準備する、「御食い始め（おくいはじめ）」、別名「御百日祝い（おひやくにちいわい）」という儀式を行います。

健やかな成長を祈って、
百日祝いをしましょうね~



イラスト：帰依ひろ子

生まれてからの「百日祝い」には、赤ちゃんの乳歯が生え始める時期（個人差はありますが）である百日前後を意味し、「百日祝い」には、ミルク以外の食べ物を準備する、「御食い始め（おくいはじめ）」、別名「御百日祝い（おひやくにちいわい）」という儀式を行います。

「百日祝い」「百カ日法要」双方の「百」には、喜び／悲しみという正反対の意味があります。直接の関連はありませんが、生死（しようじ）の大好きな節目の行事であるという点は、今の時代にあっても、クワンマグ

「二七日（ふたなのか・タナシカ）」「三七日（みなのか・ミナンカ）」「四七日（よなのか・ユナンカ）」「五七日（三十五日・ごなのか・グナンカ・さんじゅうごにち）」「六七日（むなのか・ムナンカ）」と、七日ごと

これら「四十九日」の翌日が「五十一日」に当たることからの命名であり、神道の「五十日祭」とは、直接の関連はないといわれています。

しかしながら、ある意味、沖縄の民間儀礼の忌明けと考える地域や家庭もあると耳にします。忌明けという点で、神道の「五十日祭」とは、偶然にも不思議な関連があるかも知れませんね。

Nさん、最初に述べましたが、学術的研究や向学の第一歩は、この「百」や「五十」の関連についての着眼点です。とても素晴らしい発想をお持ちであると、心から頭が下がります。

赤ちゃんの健やかな成長を願います。亡くなつてからの「百カ日法要（ひやつかにちはうよう）」の百は、遺族の悲しきがわざながらでも癒やされる百日前後を意味し、「百カ日法要」には、仏式の場合、お仏壇にお供え物を準備する、卒哭忌（そっこく）悲しみに哭（なき暮れ）ることを卒（しゆ）する意味、別名「百カ日」という儀式を行い、故人の成仏を敬います。

「百日祝い」「百カ日法要」双方の「百」には、喜び／悲しみという正反対の意味があります。直接の関連はありませんが、生死（しよ

うじ）の大好きな節目の行事であるという点は、今の時代にあっても、クワンマグ

に當まれる仏式の忌日の忌明けに当たります。

忌明けという点では、神道の「五十日祭」と、仏式・沖縄の民間儀礼の「四十九日」とは、関連があるといえます。なお、「四十九日」の翌日に、沖縄の一部の地域や家庭で行われる「マブイワカシ（魂別れ）」「ハカヌトウドウミ（墓の戸止め）」「ヤシチヌウグワン（屋敷の御願）」などの民間儀礼は、一般的に「五十日（グューニチ）」と呼ばれることがあります。これは、「四十九」の翌日が「五十一日」に当たることからの命名であり、神道の「五十日祭」とは、直接の関連はないといわれています。

しかししながら、ある意味、これら「四十九日」の翌日である「五十日」をもって、沖縄の民間儀礼の忌明けと考える地域や家庭もあると耳にします。忌明けという点で、神道の「五十日祭」とは、偶然にも不思議な関連があるかも知れませんね。

Nさん、最初に述べましたが、学術的研究や向学の第一歩は、この「百」や「五十」の関連についての着眼点です。とても素晴らしい発想をお持ちであると、心から頭が下がります。

【質問をお寄せください】 年中行事やしきたりについて、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。隨時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は22面をご覧ください。